

桐生ラグーズ、最高の夏！ ●第32回菅平ラグビーフェスタ

第32回菅平ラグビーフェスタが7月20、21日に菅平高原で行われた。関東協会が主催し、27チームが参加。今年の主役は桐生ラグーズ（群馬県）。桐生ラグーズは20日に行われた「菅平セブンズ」で、オールジンジャン（東京都、東京外人の東京勢を破り優勝を果たした）。

懇親パーティーでは、千木良キャプテンが、抽選会で10万円の旅行券を獲得。15人制の交流試合は、地元長野の強豪チームを21-14で下して勝利。桐生ラグーズにとっては最高の大会となった。

の大会となった。
32回目を迎えたこの大会には、1980年代のラグビーチームの頃は、100チーム以上のチームが参加した。2000年代に入り大幅に減ってしまったが、ここ数年は菅平観光協会、旅館組合の協力により、選手はもちろん家族も参加できる懇親パーティーの実施により、家族や友人での大会参加者が増えている。

懇親会は生ビール、朝どれレタスを味わい、女性・子供全員へのレタスプレゼント、高原野菜の抽選会、10万円、5万円の旅行券が当たる抽選会と楽しい企画で大変な盛り上がりを見せた。来年は、さらにスケールアップし「ステーキ、焼肉パーティー」を行い、さらに楽しい懇親会にしたい。かつて参加したチーム、そして新たなチームもこの楽しい大会に参加してほしい」（丸山菅平観光協会理事長）。

CLUB TOPICS

40周年、さらなる飛躍へ

●桐生ラグーズ

群馬県桐生市で活動している桐生ラグーズは1974年創部、今年で39年目を迎える。毎週日曜日に主に桐生市の河川敷グラウンドで練習を行い、ラグビースクールや市内高校、県内大学とも合同練習を実施している。また、



40周年に向け上昇中の桐生ラグーズ

県外の社会人チームとも練習試合を行い、交流を深めている。厳しい練習環境の中でも、いつも和気あいあいとし、練習後の飲み会やバーベキューを楽しむとても明るいチームだ。

一時は人数が集まらずチーム存続の危機もあった。しかし、桐生ラグビー協会の支援もあり、桐生ラグビースクール（パナソニック ワイルドナイツ）選手もかつて所属した）出身の若手や県内強豪チームからの入部も増え、近年は群馬県1部リーグで活躍できるチームとなった。

11年度は念願の東日本クラブトーナメントへ初出場ながら北関東ブロック予選を勝ち抜き、関東大会への出場を果たした。メンバー一同、チームの新たな可能性を知ることができ、この大会以降は東日本クラブトーナメントを目標に活動している。

また、強さを追い求めるだけでなく、メンバーや家族もラグビーを通じて人生を楽しむことをチームの理念として活動している。

今年も有望な新人が加入し、飛躍すべくスタートした。しかし、6月に行われた東日本クラブトーナメント北関東ブロック予選への出場をかけた行われた群馬県プレーオフ決勝戦では5点差で惜しくも敗退。本当に悔しい思いをしたが、現状の実力を理解できる良い機会となった。

気分を新たに、7月に開催されたラグビーフェスタin菅平へ今年も参加。昨年、初めて菅平交流セブンズで優勝することができ、選手宣誓権を獲得しましたが、開会式当日が雨であったため、主将の晴れ姿を多くのラグーマンにお披露目できなかった。今年こそ、大勢の前にキャプテンに選手宣誓をと意気込んで菅平セブンズへ出場。20代前半～40代まで、走力ある有力なメンバーが集まったおかげで、無事に2年連続菅平セブンズ優勝、選手宣誓権を獲得することができた。翌日の開会式では、主将が穏やかに選手宣誓をさせていただいた。来年も、さらに工夫をこらした選手宣誓ができるよう頑張っていきたい。

今秋の活動では、群馬県社会人リーグを2連覇中で、3連覇を目標としている。来年には再度、東日本クラブトーナメントで良い成績を残せるよう活動したい。

また今年度から桐生市に新しいラグビークラブ「桐生クラブ」を発足させた。当チームのOBや子どもの影響でラグビーを始めた方、仕事などの理由でラグビーから離れた方にもまたラグビーができるように、との思いで結成した。群馬県社会人リーグ3部からのスタートとなるが、まずは1勝を目標に活動していく。まだまだメンバーを募集しているので、興味のある方は桐生ラグーズ公式ホームページよりご連絡ください。年齢、経験不問、久々にラグビーをしたいという方、どなたでも楽しめるチームです。

来年、桐生ラグーズは創部40周年を迎え、記念式典を予定しております。記念冊子や特別ゲストなどを計画中。多くの関係者に参加して頂き、盛大に実施する予定です。